誠・力・光	令和５年１０月１６日 練馬区立北町中学校 学校だより　１０月号

自主自律

校　長　中嶋　雅彦

先日、私の机に「後期　生徒会本部役員・専門委員　名簿」が置かれていました。9 月に行われた生徒会役員選挙から始まり、各学級の専門委員が決まりました。3 年生から、2 年生への生徒会組織の移行が行われました。まだまだ、3 年生の力は必要ですが、良き伝統を引き継ぎ、新しい北町中学校を創っていく 1,2 年生の活躍が期待されます。

今回の生徒会役員選挙は、7 人の定員に対し、12 人もの立候補がありました。大変な激戦となり、立会演説会では全生徒が耳を澄ませすべての候補者の話を聞いていました。どの生徒が選ばれても北町中学校をより良くしてくれる可能性が見いだされる演説会でした。選ばれた人も悔しい思いをした人もこれからの生徒会の目標に向かい共に歩んでほしいと思います。本校の生徒会は、自ら考え、判断し、行動することを伝統として引き継がれています。この大切な考え方をさらに発展させ北町中全体で大きく成長してほしいと願っています。

さて、本校の校歌の 2 番は、「木立ちに畑に　家群に　生気みなぎる　我等また　励み　いそしみ　自主自律　健く　正しく伸び行かん　力を北町中学校」という詩です。昭和 35 年 2 月 22 日に制定されました。本校が創立された翌年度です。第一回卒業生の話によると校歌の歌詞は一般公募で、2 月の寒い日、作詞者・作曲者が朝礼で紹介されたそうです。作詞者の高津才次郎先生は、長野県の女学校の先生で俳人の研究をされていた方です。作曲者の外山国彦先生は明治 38 年生まれの作曲家で晩年は教育活動に貢献されました。本校の校歌をお作りになった時は 70 才を超していたそうです。オーケストラ鑑賞教室でよく演奏される「管弦楽のためのラプソディ」の作曲者・外山雄三先生のお父様です。本校が創立されたときから多くの卒業生に歌われてきたこの校歌にある「自主自律」は、歴代の生徒会が後輩へつなぎ、形を変えながら新しい北町中学校の柱となっています。これからの激しく変化する社会において、自分らしい幸せを見つけていくには、この精神を大切にしながら子どもたちを教育していく必要があります。

これからも保護者や地域の皆様のお力を借りながら、北町中学校を生徒が自ら生き生きと活動する学校としてまいります。